

令和7年度 営農情報（野菜）第1号（4月）

令和7年4月1日

JAあきがわ営農支援センター

1. 生育・病害虫

ノラボウナ
ハウレンソウ

ノラボウナは低温・乾燥の影響で株が小さめで、収穫量が少ない傾向です。ハウレンソウとともにハクサイダニの被害がみられました。

タマネギ

生育は概ね順調です。去年はべと病の被害が多くみられました。下記を参考に予防的防除をお願いします。

2. 注意事項など

タマネギべと病の対策

◎曇・降雨が何日か続くと感染しやすく（2次感染）、2週間前後の潜伏期間を経て発病します。発病してから薬剤散布しても効果は期待できません

◎重点防除時期：3月中旬～4月下旬、ローテーション散布を。薬剤散布は天気がくずれる前に行いましょう。

タマネギべと病の主な登録薬剤

薬剤名	IRC	使用時期(日)	使用回数
ジマンダイセン水和剤	M3	3	5
ダコニール1000フロアブル	M5	7	6
アミスター20フロアブル	11	1	4
プロポーズ顆粒水和剤	40・M5	7	3
リドミルゴールドMZ顆粒水和剤	M3・5	7	3
ベトファイター顆粒水和剤	27・40	7	3

は予防効果のあるもの。他は予防・治療効果のあるもの



3. 気象情報

関東甲信地方1か月予報（3/29～4/28）：気象庁3/27発表

平均気温は高い確率 50%。2週目（4/5～4/11）は高い確率 70%。平年とくらべて晴れの日が少ない。

→気温は高い傾向で晴れの日が少ない予想です。